

平成29年度 第4回 谷浜・桑取区地域協議会  
次 第

日時：平成29年10月3日（火）午後7時～  
会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

地域団体との意見交換会の実施結果及び今後の自主的審議の方向性について

4 その他

5 閉 会

## 自主的審議として解決したい地域の課題

| No. | 自主的審議で審議していきたい地域課題 | 地域課題として挙げた理由                       |
|-----|--------------------|------------------------------------|
| 1   | 県道及び町内主要道路の環境整備    | 地区全体の雰囲気がわかりやすい道と川であり、大切にしたい環境と思う。 |
| 2   | 桑取川の中州や岸辺の環境整備     |                                    |
| 3   | 地域の高齢化への対応         | 少子高齢化は止められない。                      |
| 4   | 人口（世帯数）減少          | 各町内で未婚者、高齢者が増え、小中学校の児童・生徒数の減少等     |

## 地域課題に関する意見集約表

谷浜・桑取区の自主的審議事項「子育て支援について」で委員から出された意見と「谷浜・桑取区地域協議会 意見交換会」(H29.7.18開催)で出された意見を一覧として集約。

## ■地域課題の現状認識

| 区 分               |               | 内 容  |   |   |
|-------------------|---------------|--|---|---|
| 子育て支援             | 人口減少の理由       | No. 1  | 地域内の雰囲気   | 地域の住民のつながりが少ない。   |
|                   |               |  | 地域内で住めない、住みたくない理由がある。   |   |
|                   |               |  | 子育てをしようと思っても、乳母車を押してられない雰囲気が集落内にある。   |   |
|                   |               |  | 地域的な歴史からも物事の考え方が閉鎖的なことが多く見受けられる地域であると思う。そのために、生活観や世代間の大きな価値観の相違などあり、都市部等に比べると他のものに関する過剰な干渉や独断的な批判等が多く見受けられ、若者が自由に住みにくい地域となっていることが多い。それに関連する、嫁姑、小姑問題も未だに根強いと感じられる。 |   |
|                   |               |  | 各世代で暮らすと精神的負担が多くなる・・・町場育ちの人との意識の差が大きい。  |   |
|                   |               |  | 魅力ある地域づくりがなされていない。  |   |
|                   | 結婚している若者が少ない。 |  |   |   |
|                   | No. 2         | 町内会  | 集落維持のための義務仕事が負担。(町内の行事等)  |   |
|                   | No. 3         | 雇用   | 地域近郊に若者たちが働きたいと思う職場が殆どない。若者たちが働く場づくりがなければ、若者たちは住みづらく、また家庭を築きにくいと思う。   |   |
|                   |               |  | 親世代の仕事がない(近隣、市内)。   |   |
| 交代勤務などで自宅から通いづらい。 |               |  |   |   |
|                   |               | 過疎化の要因としては、昭和40年代まではこの地区の大半の人が農業で生計を立てていたが、昭和60年代以降は生活にかかる諸費用の上昇に農業による収入だけでは追いつかず、若い人たちは転業して土地を離れたことによる。農業離れはまだ終点ではなく途上です。 |   |   |
| No. 4             | 住居            | 市街化調整区域等の関係で、住宅が自由に建てられないところが多い。   |   |   |
|                   |               | 水洗トイレでない(リフォームは困難)。  |   |   |
|                   |               | 借地が多く、若者は自分の土地に家を建てたいため、地域外へ出て行く。  |   |   |
| No. 5             | 交通            | 公共の交通機関が十分に発達していない。<br>(子どもたちの通学、老人の通院等)にかなりの支障をきたしており、保護者などかなりの負担となっている)  |   |   |
| No. 6             | その他           | 少子化の原因は生活環境の変化、人々の価値観の変化等によるもので、ここ数十年で数百年分の生活様式が変化しました。それに対応していくべきです。  |   |   |
| 子育て支援以外の課題        | 人口減少の影響       | No. 7  | 学校  | 少子化で学校の児童数が少なく、複式学級や放課後の対応等問題点が多い。<br>(少人数のために子どもたちの教育に偏りが生じている。人間関係も少人数の中で固定されてしまい、十分な人間関係性を育てる環境が作りづらくなっている。) |
|                   |               | No. 8  | 観光  | 海水浴客は減少傾向であり、地域内でも海水浴に来る人が少ない。  |
| No. 9             | 自然・農地         | 桑取川の水量が不足し、漁業や農業に影響を及ぼしている。  |   |   |
|                   |               | 農地が荒れた状態になっている。  |   |   |

■課題解決に向けての方策等

| 区分    |         | 内 容        |   |       |                  |   |
|-------|---------|------------|---|-------|------------------|---|
| No. 1 | 地域内の雰囲気 | 地域内外への交流   | 上越市全体で子どもたちと地域交流できる場所を作っていく。<br>世代間交流をもっと深め、構想していく。   |       |                  |   |
|       |         | 高齢者への支援    | 地域が元気でなければ、子育て支援もできない。お年寄りが活発に、元気に暮らせるような取組が必要である。(老人会の存続など)  |       |                  |   |
|       |         | 転入者の歓迎     | 定年退職者を対象にし、「第2の人生を楽しむ」場所として、移住を促す。  |       |                  |   |
|       |         | イメージの回復    | 市街地、区外への通勤も苦にならない立地であることをPRする必要がある。   |       |                  |   |
|       |         | 出会い        | 地域にいる独身の男性、女性の統計を取り、町内会長連絡協議会等が仲人の役割を果たしてもらえないか。<br>地域の独身の男女が出会う婚活パーティーのようなものを開催する。   |       |                  |   |
| No. 2 | 町内会     | 負担軽減のための改革 | 若い世代の意見を聞き、負担を軽減しながら町内行事が継続できる取組を行う。  |       |                  |   |
| No. 3 | 雇用      | 雇用の安定・促進   | 雇用の促進と安定化がまず第一である。  |       |                  |   |
| No. 4 | 住居      | 空き家対策      | ◎地区内の空き家を見つけ、「低所得者層」に住んでもらう。(富裕層は無理)<br>イ、地区に人が住み付けば地区のにぎわい(活気)が出る。<br>子どもも増える→子育ても必要となる<br>ロ、空き家を見つける人は専門職の不動産会社社員にお願いすれば出来そうだが、利益団体なので、利益の出そうな所しか動かない。<br>ハ、地区の住民が行くと「個人のプライバシー」が守れるか問題あり。空き家を見つけるには「個人のプライバシー」が守れる人、又守らないといけない人が必要です。<br>ニ、空き家が見つければ、インターネット等でPRできる。<br>(特別な人を除く対策は必要)<br>◎家を持ちたい、探している人へ空き家の情報を提供し、地域外への人口流出を防ぐ。<br>「空き家カルテ」を作成し、空き家情報を掴んでおき、空き家を使いたいという人を案内できるようなシステムを作る。<br>高齢者の単独世帯には、空き家になる前から親族と今後について相談し合えるような仕組みを作る。 |       |                  |   |
|       |         |            | No. 5   | 交通    | —                | 意見なし  |
|       |         |            | No. 6   | その他   | —                | 意見なし  |
| No. 7 | 学校      | 学校区の見直し    | 上越市全体で学区を超えて児童が入学できるようになればと思う。  |       |                  |   |
| No. 8 | 観光      | 観光のPR      | まずは地域住民から海水浴に来てもらえるようPRし、県内外へ発信していく。<br>人口が集中している都会にいる子どもたちに、上越地域の里山の美しいことをもっとPRしていく。<br>国道8号に桑取地域への誘導看板を設置する。<br>町場の人もよく訪れているたにはま公園の出入り口に地域を紹介するものを設置する。   |       |                  |   |
|       |         |            | No. 9   | 自然・農地 | 自然や農地の現状確認と方策の検討 | 地域協議会、町内会長連絡協議会で連携を取り、桑取川の水量が減っている理由や現地確認を行い、今後の方策を検討する。  |
|       |         |            | No. 10  | 全体    | 各団体との連携・協議       | 各協議会(青少年健全育成会、谷浜・桑取地域振興協議会、谷浜町内会長協議会、南部協和会等)が数多くあるがもっと一般住民と話し合いが大事だと思う。<br>地域内で元気に暮らしている人たちの姿・期待されている事柄などを知ることや、どのような応援が必要かなどに目を向けることが大切である。<br>例えば、農作業を請け負っている組織、農作物をつくり、販売している団体、蕎麦を栽培している団体、老人クラブで楽しんでいる人たち、公民館を中心にカルチャーで楽しんでいる人たち、NPO山里ファン倶楽部、株式会社東京農大、くわどり湯ったり村の存在、地域の食生活推進員、運動普及推進員などの活動、青少年健全育成会などの団体、町内会行事等で楽しく交流している集落、少人数学級でのメリット、いずれは実家に住みたいと思っている人たち、この地域を選んで住んでいる人たち など。 |
|       |         |            |   |       | 検討方法             | 子育てとは、人の人生そのものです。子育てに関係する色々な事項については、政治・経済・人の情(心)が関係してきます。我々、委員で解決出来るレベルを超えている様に思うが、しかし、何もしない、何も出来ないでは、すまされない所もある。出来る所、出来そうな所からやってみて行くしかない。<br>各委員、出来そうな「具体案」を出し合い、それを土台に話し合う必要がある。<br>活性化させるものは何かをもっと検討するべきであると思う。  |